

問2 システム開発プロジェクトにおける品質管理について

プロジェクトマネージャ（PM）は、システム開発プロジェクトの目的を達成するために、品質管理計画を策定して品質管理の徹底を図る必要がある。このとき、他のプロジェクト事例や全社的な標準として提供されている品質管理基準をそのまま適用しただけでは、プロジェクトの特徴に応じた品質状況の見極めが的確に行えず、品質面の要求事項を満たすことが困難になる場合がある。また、品質管理の単位が小さ過ぎると、プロジェクトの進捗及びコストに悪影響を及ぼす場合もある。

このような事態を招かないようにするために、PM は、例えば次のような点を十分に考慮した上で、プロジェクトの特徴に応じた実効性が高い品質管理計画を策定し、実施しなければならない。

- ・信頼性などシステムに要求される事項を踏まえて、品質状況を的確に表す品質評価の指標、適切な品質管理の単位などを考慮した、プロジェクトとしての品質管理基準を設定すること
 - ・抽出した欠陥の件数などの定量的な観点に加えて、欠陥の内容に着目した定性的な観点からの品質評価も行うこと
 - ・品質評価のための情報の収集方法、品質評価の実施時期、実施体制などが、プロジェクトの体制に見合った内容になっており、実現性に問題がないこと
- あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが携わったシステム開発プロジェクトの特徴、品質面の要求事項、及び品質管理計画を策定する上でプロジェクトの特徴に応じて考慮した点について、800字以内で述べよ。

設問イ 設問アで述べた考慮した点を踏まえて、どのような品質管理計画を策定し、どのように品質管理を実施したかについて、考慮した点と特に関連が深い工程を中心に、800字以上1,600字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イで述べた品質管理計画の内容の評価、実施結果の評価、及び今後の改善点について、600字以上1,200字以内で具体的に述べよ。